

ド

◇名古屋地方気象台が来月、防災講演会◇

名古屋地方気象台や愛知県、名古屋市は8月6日、名古屋市中区栄4の1の8の中区役所ホールで防災講演会を開催する。

講演会のテーマは「東海豪雨から10年、水害に備えて」。

内容は、静岡大学防災総合センタの牛山素行氏による講演「近年のめぐる課題」、名古屋地方気象台同「大雨の予測と防災気象情報」台防災業務課（電話052・75

Nagoya Busir



実際の研修の様子



大山裕之社長

力向上プログラム」の「人間力」とは、学力やスキルではかれない人間的魅力を意味する

同社は09年設立。人。同社では、自分と材育成、教育、組織開 部下それぞれの「人間力」を理解することが、ティンクを行う。良好な信頼関係の第一歩と考えている。

研修の内容としては、「人間とは？」「何のために働くか？」など多くの問いかけによって新たな気づきと学びを喚起するものとなっている。また、研修後も勉強会などの学びの場を提供し、現場での継続的な受講内

ビジネス研修などを手掛けるコンティニュー（本社名古屋市中区栄3の2の3・名古屋日興證券ビル4階、大山裕之社長、電話052・771・6486）は、本物のリーダーを育成する新型研修「人間力向上プログラム」を開始する。自分を深く知り、部下を理解することをベースとして、上司と部下の信頼関係構築につなげていく。企業の管理職を対象として、コミュニケーション力向上をサポートしていく考えだ。（浅井勲）

コンティニュー

「気づき」浸透へ新研修

部下との信頼構築

管理職向け 講座展開 継続実践サポート

容の実践をサポートする。こうした研修を開発するきっかけとなったのは、大山社長自身の経験からという。大山社長は「自分自身が昔気質のモータース営業マネージャーで、部下とのコミュニケーションが不足していた」と企業の管理職時代を振り返る。

「コミュニケーションの大切さに早く気づいていれば、人間関係に悩んだり、不幸な部下を作ることなかった」と反省。同社では、研修を通じてひとりでも多くの企業マネージャーに「気づき」を浸透させ、不幸な上司と部下の関係を解決していく考えだ。

「モチベーション、価値観が多様化する中、まずはお互いを認め合うことが大切。コミュニケーションのベースとなる部分からサポートしていければ」としている。

大山社長は「モチベ